

福祉生活病院常任委員会資料

(平成27年8月21日)

【件名】

新中央病院建替整備基本設計の概要について（病院局総務課）…… 1

病 院 局



新中央病院建替整備基本設計の概要について

平成27年8月21日
病院局総務課

このたび県立中央病院建替整備の基本設計がまとまりましたので、その概要を報告します。

1 建替整備の基本方針

- (1) 鳥取県東部保健医療圏内で高度医療が担える中核病院として整備する。
- (2) 健全な経営が持続できる範囲内での整備計画とする。

2 新病院の概要

- (1) 病床数：518床（一般504床、結核10床、感染症4床）※現在431床
- (2) 延床面積：50,900㎡
- (3) 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造（免震構造）
- (4) 階構成：11階建（免震構造を活用して、免震層内にエントランス機能を持たせた1階を設け、2～11階に診療機能を持たせる。[外来2～3階、病棟4～11階]。屋上ヘリポートを新設

3 特徴的な高度医療（例示）

(1) 救命救急医療の強化

- ①救命救急センターの充実（救急外来と救命救急病棟を隣接して配置し、救命効果を向上させるとともに、増床14床→20床）
- ②救命率向上のため、屋上ヘリポートと救命救急センターを直結するエレベータを設置
- ②手術室に隣接して、ICU病室（0→6床）及びHCU病室（16床）を配置
- ③24時間、急性心筋梗塞及び脳卒中治療が可能な「心臓病センター」及び「脳卒中センター」各45床を設置

(2) 周産期母子医療の強化

- ①新生児治療室を倍増（集中治療室（NICU）・回復室（GCU）各6床→各12床）
- ②合併症の妊婦等の治療を行う母体胎児集中治療室（MFICU）を増床（2床→3床）

(3) 高度な手術室を新設

- ①血管X線撮影装置を備え、カテーテルを使う内科的治療と外科的手術が、連続して、かつ安全に行える「ハイブリッド手術室」の新設
- ②低侵襲性の「ロボット支援手術室」を新設

(4) がん医療の強化

- ①東部保健医療圏で不足している「緩和ケア病床（10床）」を新設
- ②白血病等、血液疾患に対応した無菌病室（クリーンルーム）を増床（11床→22床）
- ③正常な細胞を極力傷つけず照射できる、「強度変調放射線治療（IMRT）室」の新設
- ④がんの早期診断に有効な「PET-CT室」の新設
- ⑤化学療法室の充実（8床→20床）

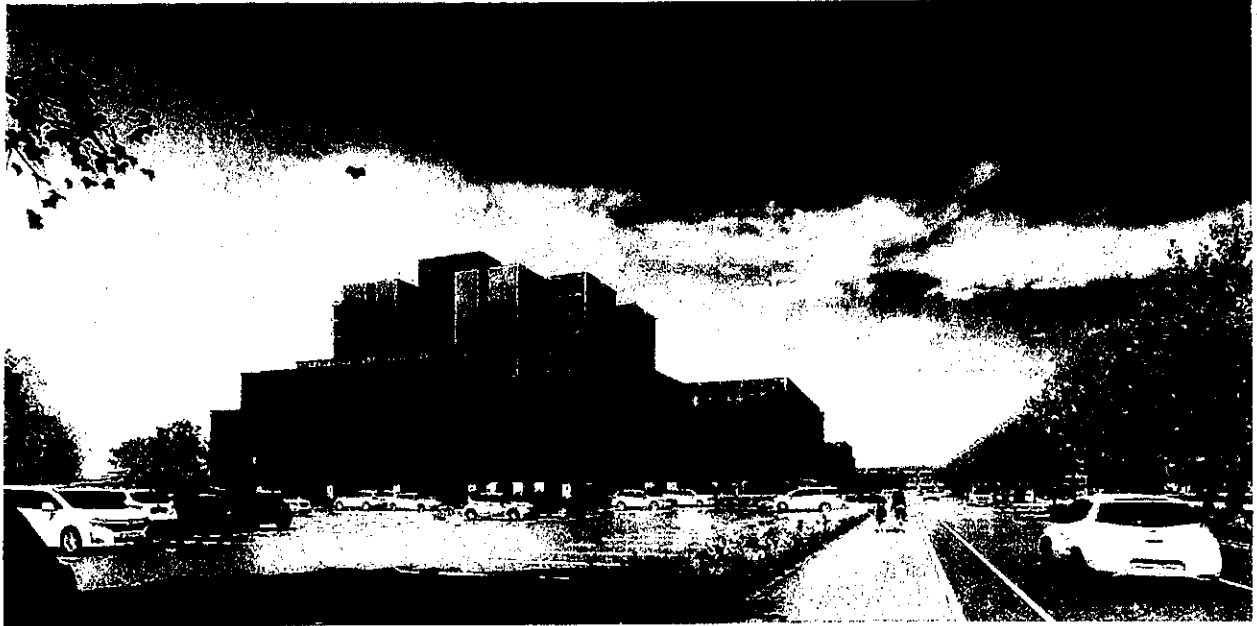
4 新病院建設概算工事費（想定）

270億円程度 ※新病院建設後も、黒字を維持

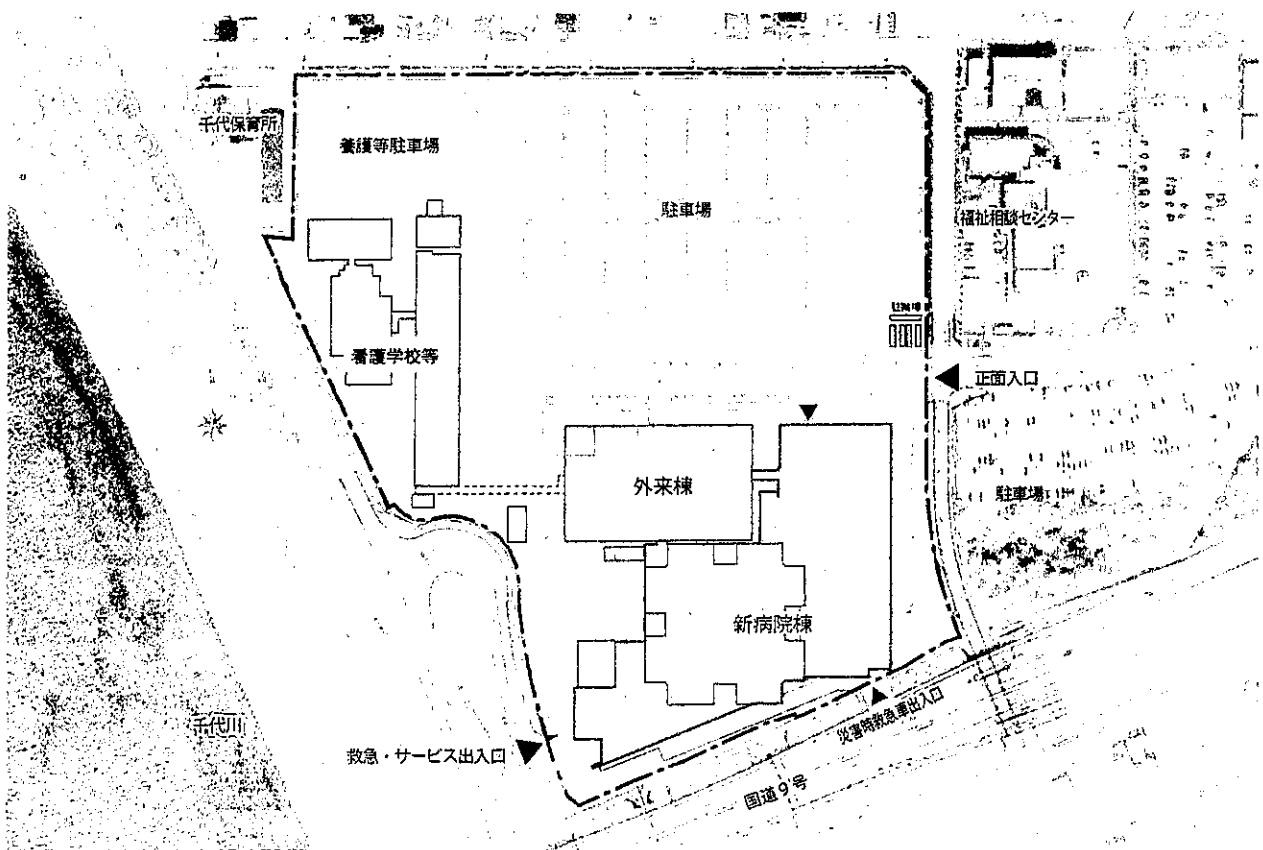
5 新病院新築工事の想定スケジュール

平成27年8月～平成28年5月	実施設計
平成28年6月～平成28年8月	工事発注手続（発注公告・入札）
平成28年9月～平成30年7月	新病院新築工事（完成後、引越作業）
平成30年10月	新病院オープン

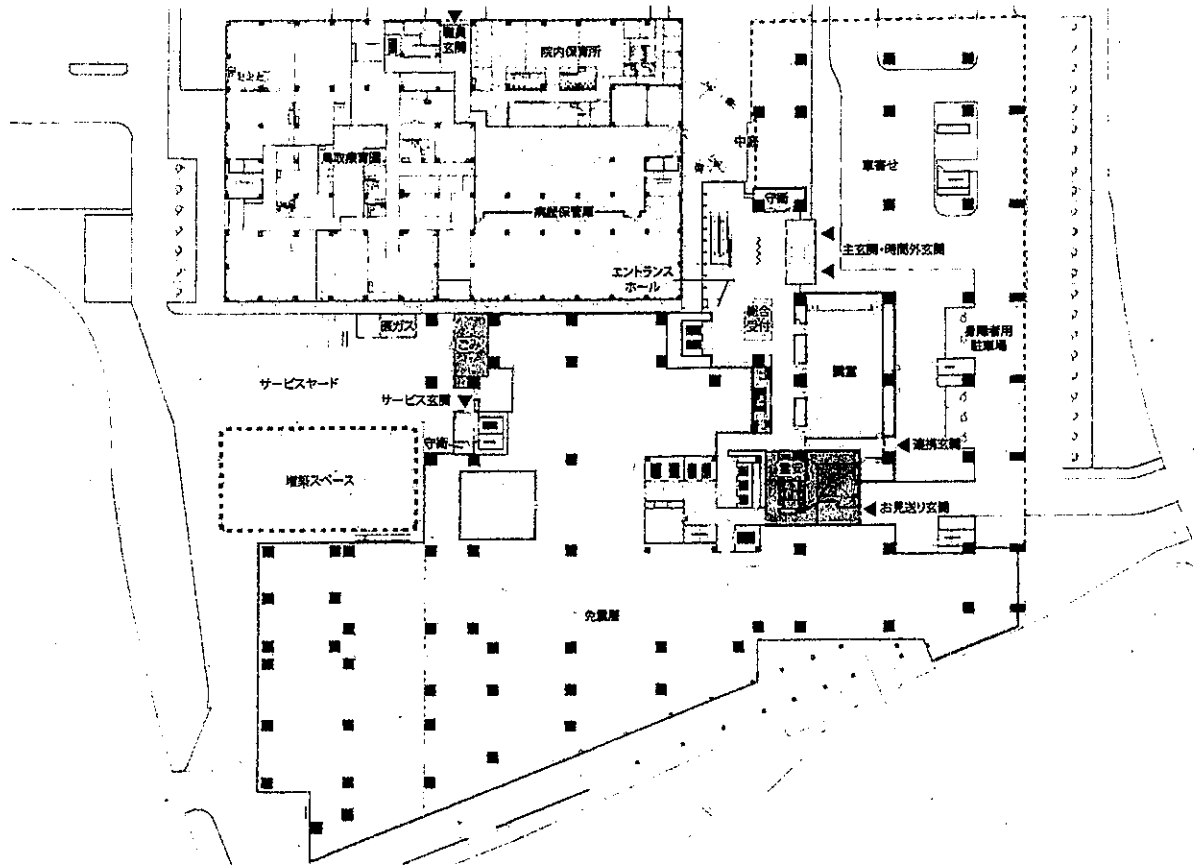
新病院の外観（東側正面入口から見た外観）



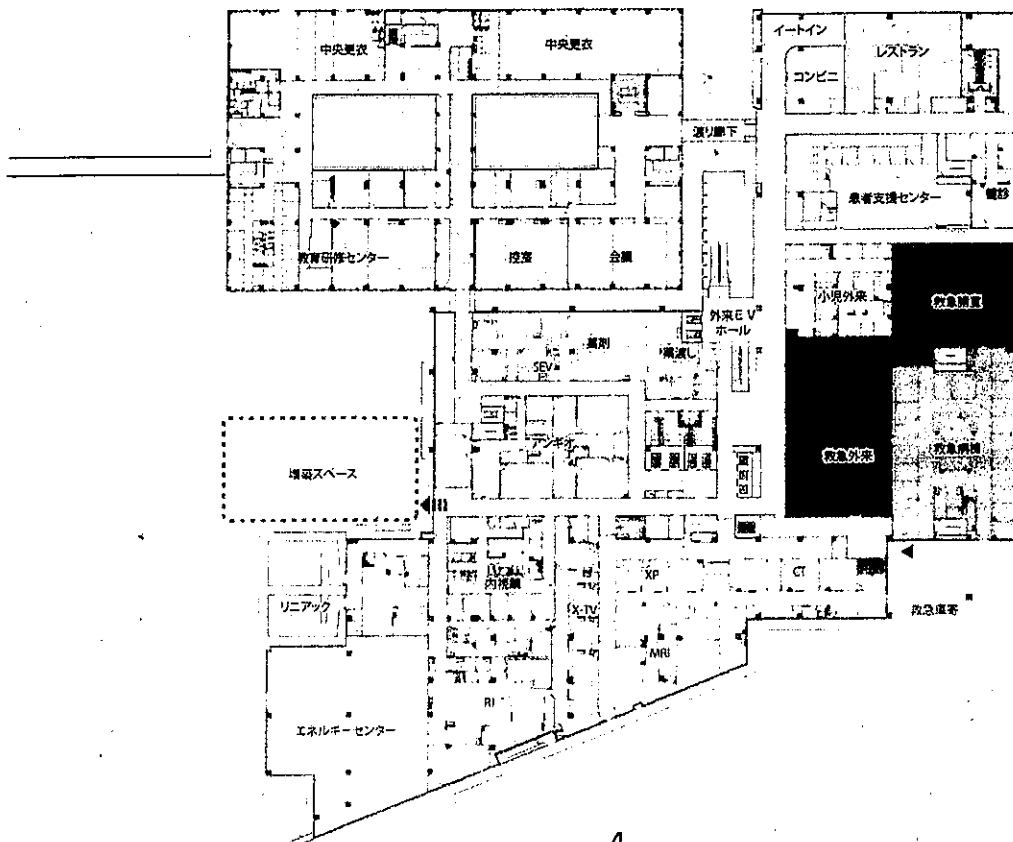
配置計画



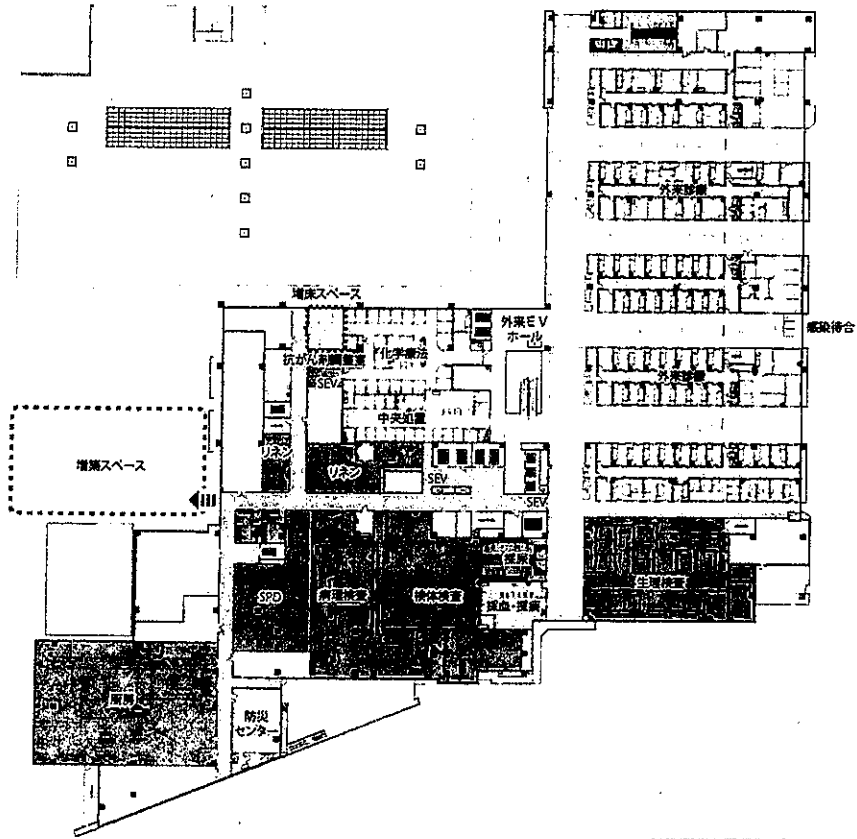
1階平面図（エントランス・講堂・サービスヤード等）



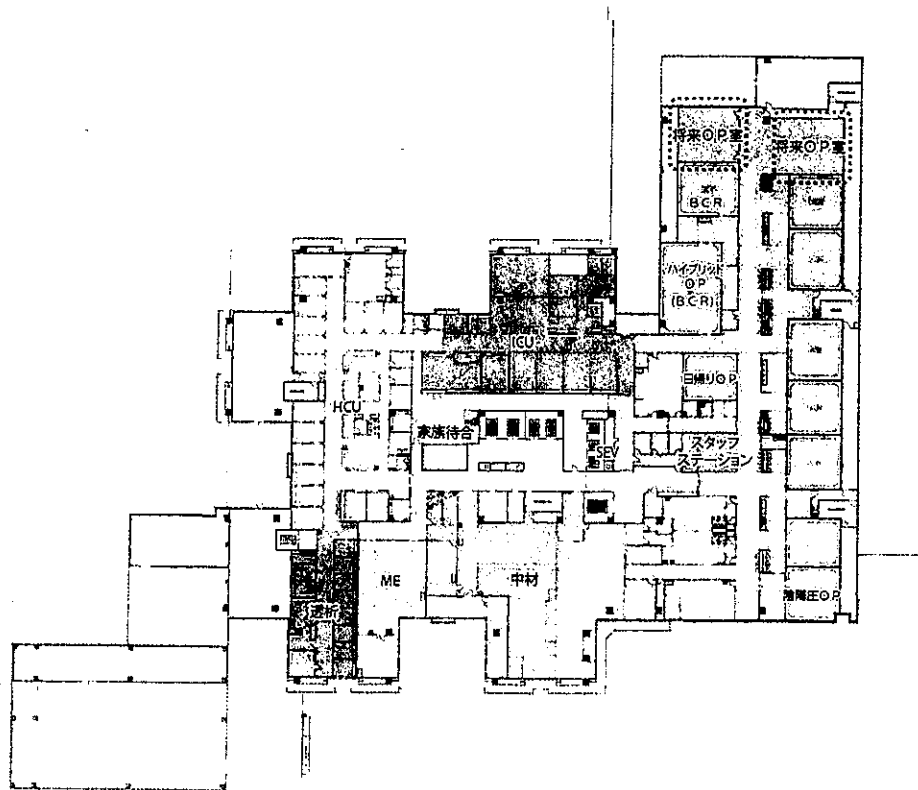
2階平面図（救急・放射線・小児・薬剤・患者支援・利便施設・会議）



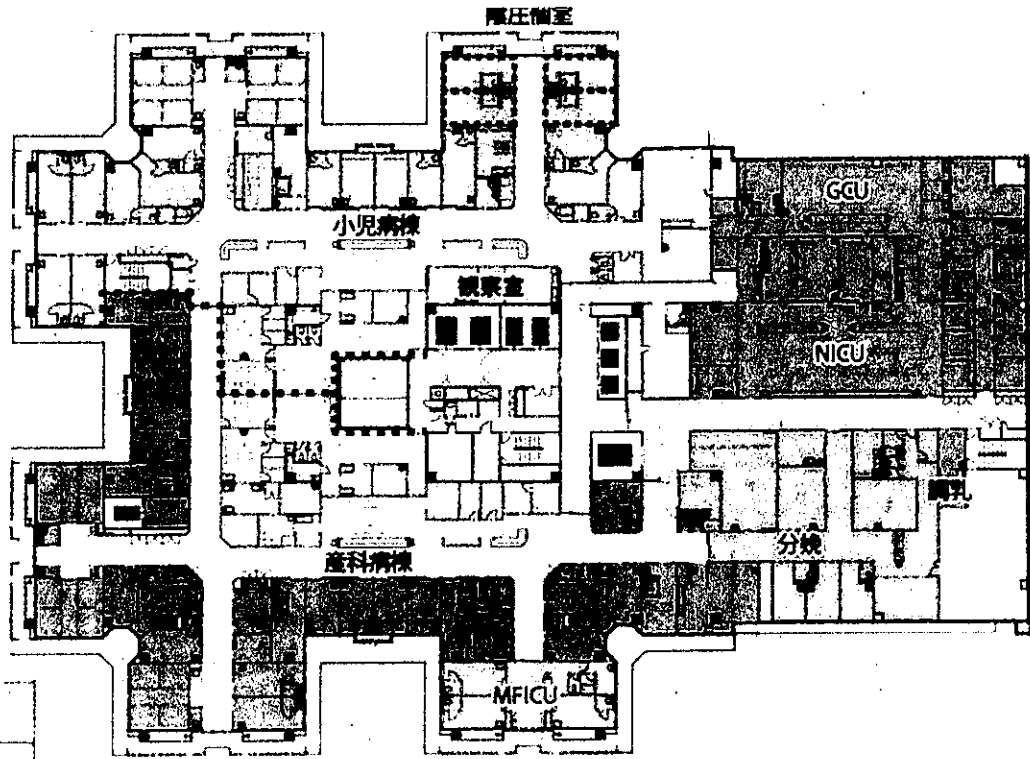
3階平面図 (外来・検査・化学療法・厨房等)



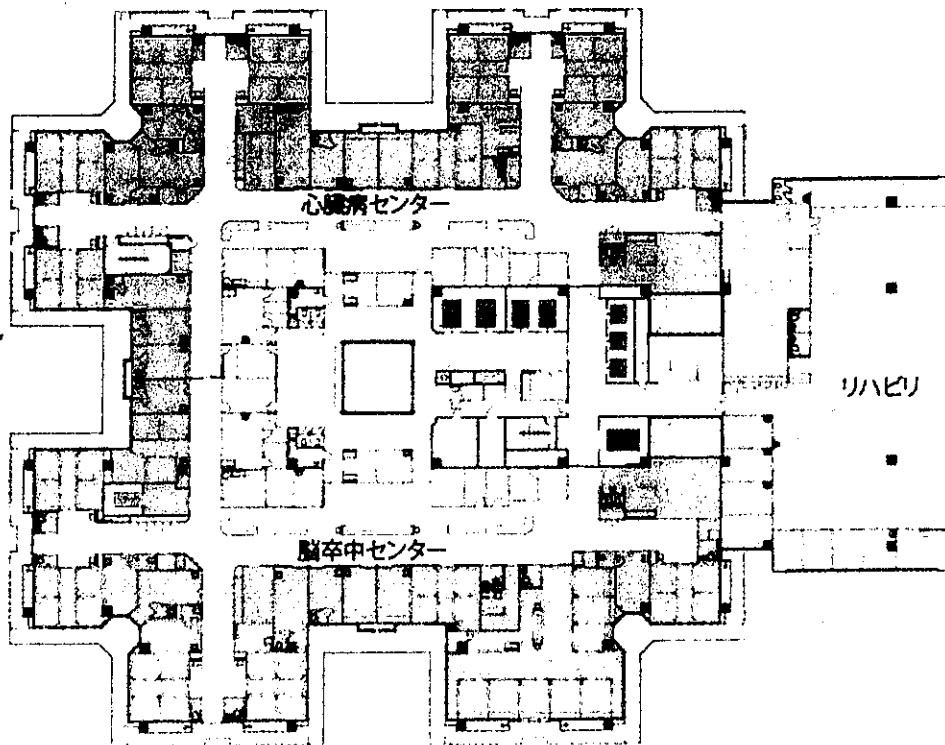
4階平面図 (手術・ICU・HCU・透析等)



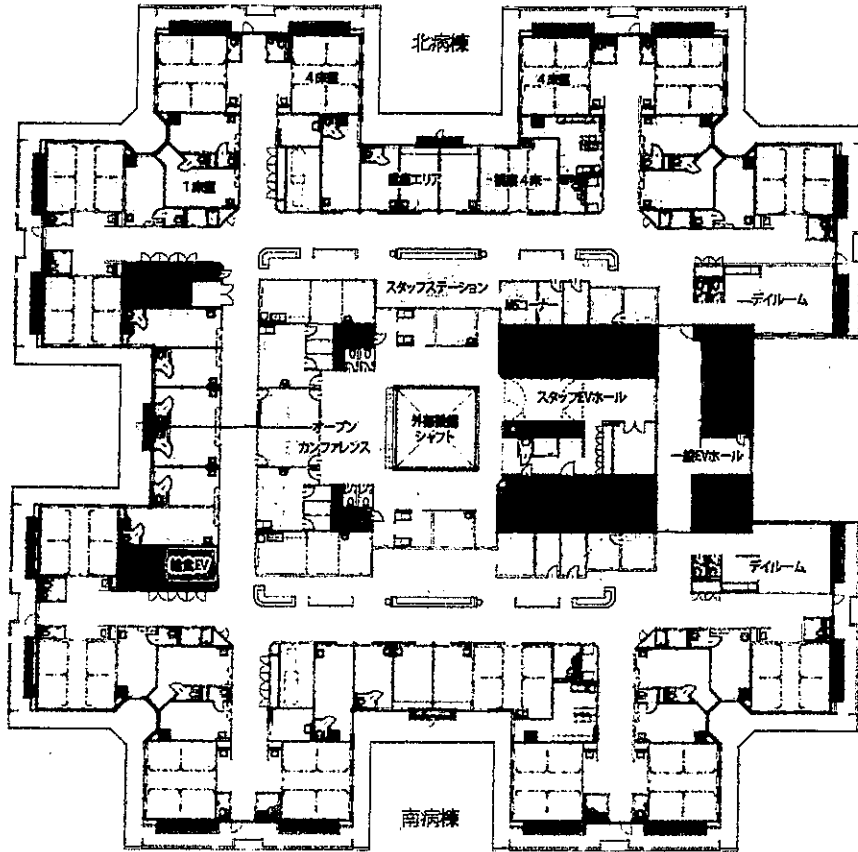
5階平面図（小児病棟・NICU・産科病棟・分娩・MFICU）



6階平面図（心臓病センター・脳卒中センター・リハビリ）



一般病棟の代表的な平面図



屋上階平面図 (ヘリポート)

